

第5回経営ビジョン策定検討部会 議事録

日 時 平成29年8月7日(月) 午後1時30分から午後3時まで

場 所 京都市上下水道局本庁舎 別館1階研修室

出席者(本市職員を除き五十音順,敬称略)

1 委員

神子 直之 立命館大学教授(理工学部)
小林 千春 同志社大学教授(経済学部)
小林 由香 税理士
中嶋 節子 京都大学教授(大学院人間・環境学研究科)
江淵 史明 京都市上下水道局総務部経営ビジョン策定・防災担当部長

2 京都市上下水道局

総務部経営政策担当部長,総務部総務課長,総務部経営企画課長,総務部経理課長,
総務部お客さまサービス推進室業務管理担当課長,技術監理室監理課長,
技術監理室監理課担当課長,水道部管理課担当課長,下水道部計画課長,
事務局(総務部経営企画課)

次 第

1 開 会

- (1) 出席者確認
- (2) 進行の確認,会議の公開について

2 議 題

次期経営ビジョン骨子案について

3 閉 会

内 容(議題に係る主な意見)

<全体に係る意見>

- 写真を配置したことにより内容がわかりやすくなっていると思うが,脚注の付いていない写真が一部あるので,短い文章で構わないので,脚注を入れてみてはどうか。

<「表紙」,「次期経営ビジョンについて」,「現在の「京(みやこ)の水ビジョン」の取組」,
「事業を取り巻く背景・課題」,「基本理念と取組の構成」(表紙~p8)に係る意見>

- 表紙の文章の3段落目について,「節水型社会の定着」を文頭に掲げると「節水型社会」が悪いというニュアンスを与える可能性があるので,「節水型社会の定着」よりも「人口減少」を前に出した方がよいのではないか。

- 表紙の文章をはじめ，文末の表現をもう少し工夫した方がいい箇所があるので，再検討してほしい。
 - p1「1 次期経営ビジョンについて」について，「京都市基本構想」や「京都市基本計画」に上下水道事業に係わる項目があるのであれば，具体的にあげた方がわかりやすいのではないか。
 - p2「2 現在の「2 京（みやこ）の水ビジョン」の取組」について，総括をしている割には，記載項目が細かいので，もっと大きな取組を記載するか，簡略化してはどうか。
 - 表紙やp3「3 事業を取り巻く背景・課題」に，上下水道事業を取り巻く経営環境が，今後いかに苦しくなっていくかについて，数値を用いながら記載している点が，市民にとってわかりやすく評価できると思う。
- さらに，上下水道事業は，独立採算性を採っており，市民からの料金収入でまかなわれていることを記載すると，より厳しい環境になってきたときに，自分たちの料金に跳ね返ってくるということが市民にもっと伝わるのではないかと思う。
- p3「3 事業を取り巻く背景・課題」の（1）に，「水需要の見通し」と「管路の老朽化の見通し」のグラフがあるが，まず「水需要の見通し」については，今の料金体系における損益分岐点的な理想の水量がわかれば記載してみてもどうか。また「管路の老朽化の見通し」のグラフについては，老朽化のピークに収支を合わすための水量や料金の理想値の掲載があればわかりやすいと感じた。
 - p4「3 事業を取り巻く背景・課題」の「（2）大規模災害等を機に高まる防災・危機管理の重要性」に，「レジリエンス」の説明があるが，この説明ではよくわからない。もっと詳しく書くか，あまり書かないかどちらかにした方がいいのではないか。市民に向けて，現段階で「レジリエンス」の説明はそこまでいらないように思う。

<視点 「京の水をみらいへつなぐ」(p9～12)に係る意見>

- p10「視点」「方針 はこぶ」「取組」と「取組」について，「取組」には配水管の更新については，数値目標の記載があるが，「取組」の下水道管路の更新については，数値目標の記載がないので，こちらも併せて記載してはどうか。
- p10「視点」「方針 はこぶ」「取組」で「啓発」や「勧奨」という表現を使用しているが，上から物を言っている印象を与えるので，「提案」や「推奨」などに変更してはどうか。特に，「勧奨」という表現は一般的にあまり使用しない言葉なので，見出しの部分は別の表現を検討してほしい。
- p11「視点」「方針 まもる」について，危機管理は，市民の関心が高いと思う。消防局や建設局などインフラ系の京都市の他局との関係強化について記載すると，市民は安心するのではないか。
- p12「視点」「方針 まもる」「取組」について，「自助」は上下水道局がやることではないので，「自助を支援」など表現の仕方を工夫した方がいいのではないか。
- p12「視点」「方針 いどむ」「取組」の見出しの文章について「あらゆる業界」という表現があるが，「あらゆる」という言葉では何でもかんでもという印象を与えかねない

ので、他の表現はできないか検討してほしい。

- p12「視点」「方針 いどむ」「取組」の広域化の項目について、今の文章だとなぜ広域化を進めるのかがわかりにくいように思う。

<視点「京の水でところをはぐくむ」(p13~14)に係る意見>

- p13「視点」「方針 こたえる」「取組」について、広報活動という形で、子ども向けの授業などを記載しているが、広報というよりは社会貢献ではないか。「方針 ゆたかにする」の項目などと合わせて、社会貢献的な事業項目を作ってみてはどうか。例えば、「視点」の方針は、「こたえる」と「ゆたかにする」の二つであるが、もう一つ「つたえる」などの項目があってもいいのではないか。
- p13「視点」「方針 こたえる」「取組」について、上下水道事業の現状や経営状態についても、市民にお知らせする機会がこれから必要になるのではないかと思うので、検討いただければと思う。

<視点「京の水をささえつづける」(p15~16)に係る意見>

- p15「視点」「方針 になう」に掲載されているポスターについて、掲載されているものの以外のポスターも、市民の目に留まっており、市民の興味を引くと思うので、市民意見募集パンフレット(次期経営ビジョン骨子案)に活用してはどうか。
- p16「視点」「方針 ささえる」「取組」の見出しの文章がわかりにくいので、公営企業としての責任を果たしながら、民間活力を導入していくという意味合いがわかる文章になるよう、検討してほしい。

<「実施計画の策定と継続的な改善」,「今後の予定」,「御意見の募集内容及び応募方法」(p17~18)に係る意見>

- p18「8 御意見の募集内容及び応募方法」について、次期経営ビジョンの骨子案に対して、市民からどういう意見がほしいのかという質問の項目立て自体が上下水道局の姿勢を表すものだと思う。自分がパブリックコメントをする場合は、まずは質問の項目を見てから、中身を見ると思う。

(以上)